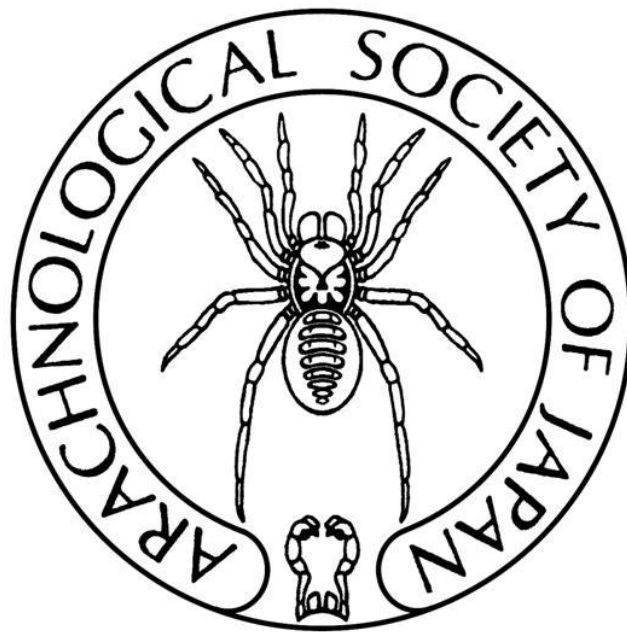


日本蜘蛛学会第 53 回大会 プログラム（仮）

*Program of the 53rd Annual Meeting
Arachnological Society of Japan*



2021 年 11 月 20 日（土）
オンライン（東京農業大学・東海大学）

日本蜘蛛学会 第53回大会

本 部： 東京農業大学農学部 昆虫学研究室

事務局： 東海大学湘南キャンパス スチューデントアチーブメントセンター

日 程

2020年11月20日（土）

9：30	開会
9：30～9：40	大会長挨拶・事務局からのお知らせ
9：40～12：10	シンポジウム
12：10～13：10	（昼食休憩）
13：10～14：25	一般講演（学生発表賞対象）
14：30～15：30	一般講演
15：30～15：45	（休 憩）
15：45～17：45	一般講演
17：45～18：05	ショートプレゼンテーション
18：05～18：15	学生発表賞の発表・来年度開催地挨拶・閉会挨拶
18：15～18：45	（フリートーク）

大会案内

大会参加者

参加申込みをされた方には、Zoom ミーティング ID を送付いたします。参加申込みをされたご氏名でログインしてください。大会当日は、開会 1 時間前より接続が可能です。待機室でお待ちいただき、事務局の許可が出ましたらご参加ください。

発表者（シンポジウム、一般講演、ショートプレゼンテーション）

Zoom の画面共有機能を用いてご発表ください。開会前および昼食時間に、接続の確認をしてください。講演時間は、次の通りです。

シンポジウム：30 分（発表 25 分、質疑 5 分）

一般講演：15 分（発表 12 分、質疑 3 分）

ショートプレゼンテーション：5 分（発表、質疑合わせて）

時間内に質疑ができなかったものについて、掲示板（質疑応答のページ）に書込みがあります。発表者は、質問をご覧になり当日中に掲示板に回答をお願いします。Acta Arachnologica に掲載される講演要旨を、講演要旨集のものから変更したい方は、原稿（Word ファイル）を 12 月 1 日（水）までにメールで大会本部に提出してください。

視聴者

マイクをオフにしてご参加ください。発表後の質問については、事務局および座長の指示に従って行ってください。時間内に質疑ができなかったものについては、掲示板（質疑応答のページ）に書込みください。発表者から当日中に回答があります。質疑応答のページは、大会終了後 1 週間表示されます。

懇親会

懇親会は行いませんが、閉会後に 30 分のフリートークの時間を設けます。当日、事務局からご案内しますので、ご参加ください。

11月20日(土)

9:30 開 会

大会長挨拶

事務局からのお知らせ

シンポジウム 9:40 ~ 12:10

「アリグモとアリーミミックとモデルの行動・生態・進化」

【座長：山崎健史，榘元敏也】

9:40 趣旨説明 山崎健史

9:50 S-1 坂本洋典（国立環境研究所）

侵略的外来アリとはどんなアリ？—その特徴と脅威

10:20 S-2 榘元敏也（大津市）

アリグモの性的二形

10:50 S-3 山崎健史（兵庫県立大／人と自然の博物館）

アリグモ属の系統分類と擬態モデル選択の収斂進化

11:20 S-4 橋本佳明（兵庫県立大／人と自然の博物館）

アリ類の多様性はアリグモ属の多様性の鋳型となっているか
—アリグモが、なぜアリ擬態するのかを考察する—

11:50 総合討論

12:10 ~ 13:10 <昼 食>

一般講演（学生発表賞対象） 13:10 ～ 14:25

【座長：片山詔久】

- 13:10 O-1 ○山本フィリップ・岩井碩慶*・富田勝*・河野暢明*・荒川和晴*
 (慶應義塾大学環境情報学部・慶應義塾大学先端生命科学研究所*)
 マルチオミクス解析による篩板系遺伝子の推定と系統解析
- 13:25 O-2 下村 颯(東邦大学大学院地理生態学研究室)
 徘徊性クモ類における人工飼料の開発にむけて
 —昆虫ゼリーと爬虫類飼料を用いた飼育実験—
- 13:40 O-3 遠藤鴻明(東北大学生命科学)
 水田において水路のコンクリート化はクモ群集にも悪影響なのか
- 13:55 O-4 ○鈴木紗也華・馬場友希*・東樹宏和(京大大学生態研・農研機構*)
 草原性クモ群集の食性解析：季節動態と個体群動態に着目して
- 14:10 O-5 ○野口奨悟・上野高敏(九州大学農学部)
 アリ専食のクモ，ミジングモ亜科5属における採餌戦略の比較

一般講演 14:30 ～ 15:30

【座長：加村隆英】

- 14:30 O-6 ○谷川明男・山崎健史*・ボツパア ペチャラッド**
 (東京大学・兵庫県立大学*・タマサト大学**)
 美女は鬼じゃない
- 14:45 O-7 ○鈴木佑弥・平松毅久*・立田晴記**
 (鹿児島大学大学院・埼玉県*・九州大学理学研究院**)
 西表島産洞窟性カラカラグモ科の一種における分類学的検討および網構造の解明
- 15:00 O-8 ○奥村賢一(国立科学博物館動物研究部)
 生物地理学からみた九州および南西諸島産ヤチグモ類の分布特性
- 15:15 O-9 井原 庸(京都大学大学院理動物系統)
*Cybaeus mellotteei*の変転と残された分類上の課題
- 15:30 ～ 15:45 <休憩>

一般講演 15:45 ~ 17:45

【座長：馬場友希】

- 15:45 O-10 宮下 直（東京大学農学生命科学研究科）
 ジョロウグモの脚から探る捕食リスクと性選択
- 16:00 O-11 ○高須賀圭三・高橋尚樹*・河野暢明・中村浩之・前藤薫**・荒川和晴
 （慶應義塾大学先端研・酒田東高/都留文科大学*・神戸大学大学院農**）
 オオヒメグモの釣り糸式立体網を改変するマダラコブクモヒメバチの網操作
- 16:15 O-12 新海 明（八王子市）
 オオシロカネグモの造網行動（ほぼ全過程の記録と「橋糸はワク糸にならない」こと）
- 16:30 O-13 ○河野暢明・大利麟太郎*・Ali D Malay*・森 大・増永啓康**・吉田
 祐貴・中村浩之***・沼田圭司****・荒川和晴（Institute for Advanced
 Biosciences, Keio University・RIKEN Center for Sustainable Resource
 Science & Department of Material Chemistry, Kyoto University*・Japan
 Synchrotron Radiation Research Institute & RIKEN SPring-8 Center**・
 Spiber Inc. ***・RIKEN Center for Sustainable Resource Science &
 Department of Material Chemistry, Kyoto University****）
 ゲノム情報から読み解くダーウィンス・バーク・スパイダーの強靱な糸の謎

【座長：田中一裕】

- 16:45 O-14 ○鶴崎展巨・堀田菜月（鳥取大学農）
 イラカザトウムシ染色体交雑帯へのシカ害の影響
- 17:00 O-15 桑田（楠瀬）隆生（日本大学松戸歯）
 ワスレナグモ分散後の成長過程について
- 17:15 O-16 ○馬場友希・Kiyon Sorgog・田中幸一*
 （農研機構農環研・東京農業大学*）
 水田におけるクモとイネ害虫の農法に対する反応と地理的傾向
- 17:30 O-17 中田兼介（京都女子大学）
 マルゴミグモの交接と垂体切除

ショートプレゼンテーション 17:45 ～ 18:05

【座長：田中幸一】

- 17:45 SP-1 関根幹夫（奈良県三郷町）
奈良県でカネコトタテグモ：新産地発見
- 17:50 SP-2 片山詔久（名古屋市立大学総合生命理学部）
クモ糸の粘球は進化や生態に影響しているのか
- 17:55 SP-3 長井聡道（長岡技術科学大学）
関東山地北部に生息するホラヒメグモの形態的多様性
- 18:00 SP-4 ○村田浩平・中内拓海・岩崎洋一郎*・天野弘基**・岡田 工***
（東海大農・東海大基盤工*・東海大九教養教育セ**・東海大現代教養***）
キムラグモ類の生息に及ぼす巨大地震と阿蘇火山活動の影響

18:05 閉 会

学生発表賞の発表

来年度開催地挨拶

閉会挨拶

18:15～18:45 フリートーク